

特選の介護機器

在宅を支える

岡山市は今月、「介護機器貸与モデル事業」をスタートさせた。国の「総合特区」指定を受け、市内の要介護者らを対象に保険適用されない最先端の機器を1割の自己負担で貸し出す「岡山限定」の試みだ。市が全国のメーカーから公募し、貸与の対象に選んだ3つの製品を紹介する。

力を全く加えなくても、手袋に包まれた指がゆっくりと曲がる。500g程度のペットボトルを容易に持ち上げることができた。

ゴムチューブなどを用いた人工筋肉を空気圧で操作し、握る動作を補助する手袋「パワーアシストグローブ」。頸椎損傷や老化などによって握力が落ちた人への利用を想定し、医療・介護

用品製造のダイヤ工業（岡山市南区大福）が岡山大工学部と4年がかりで共同開発、2012年10月に商品化にこぎ着けた。

サポート効果は握力に換算して2割。ペットボトルに電気シェーバー、ペン、スプーン…と、さまざまな種類の繊維で挟むように

開発担当者。

人工筋肉は、ゴムチューブを伸縮性の異なる2種類の繊維で挟むようにして持ち運ぶことができる。スイッチを手袋の手首部分に配置し、机など



人工筋肉を空気圧で操作し、握る動作を補助する手袋。専用ケースに収納したポンベから空気を送る

人工筋肉で握力補う

生活用品に加え、手押し車などにも不安なく使える。ゴとで湾曲する特性を持ったフルのスイングができるといったとの報告もあるといふ。「利用者の身体状態によっては趣味にも十分応用できる」と同社の

生活用品に加え、手押し車などにも不安なく使える。ゴとで湾曲する特性を持ったフルのスイングができるといったとの報告もあるといふ。「利用者の身体状態によっては趣味にも十分応用できる」と同社の

山陽新聞
WEBNEWS
http://www.sanyo.oni.co.jp/

×E

パワーアシストグローブの貸し出し対象は、介護保険の要介護・要支援認定を受け、自宅で生活する市民。メーカー側と直接契約し、最長で2015年3月末まで借りられる。問い合わせはダイヤ工業（282-1245）。

もできる。